

特定非営利活動法人 子育て応援団ひよこ
平成26年度事業報告
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

I 運営に関する事項

1. 総会の開催

日時 : 平成26年5月17日 18:30～20:30
名取市文化会館 会議室

2. 理事会の開催

(5月・6月・10月・12月・3月 計5回開催)

3. 法人職員体制 (平成26年3月31日現在)

(1) 子育て応援団ひよこ事務局

事務局長 (兼増田児童センター事務員) : 鈴木 敏浩
事務員 : 1名 (兼那智が丘児童センター事務員)

(2) イベント託児事業

代表 (兼理事) : 白川 万喜子
ボランティア登録スタッフ : 21名

(3) 児童センター管理運営事業

児童センター運営管理事業統括 : 齋藤 勇介
統括補佐 : 小野 高宏

<那智が丘児童センター>

館長兼主任児童厚生員 (兼理事長) : 齋藤 勇介
副主任児童厚生員 : 1名
児童厚生員 : 4名 事務員 : 1名 補助員 : 3名 計10名

<増田児童センター>

施設管理者兼主任児童厚生員 (兼副理事長) : 小野 高宏
児童厚生員 15名 補助員8名 計24名
(増田児童センター・増田、下増田放課児童クラブ・
ファミリーサポートセンター スタッフ含む)

II 特定非営利活動に関する事項

大分類	事業名	小分類	事業内容
1	児童センター運営管理事業	(1)	那智が丘児童センター指定管理事業
		(2)	増田児童センター業務委託運営
2	次世代育成事業	(1)	子育て支援者のためのスキルアップセミナー
3	地域連携事業	(1)	子育てイベント託児
	同上	(2)	青少年への命の授業
	同上	(3)	他団体との連携・協力
4	子育て支援事業	(1)	訪問型子育て支援「ホームスタート」

1. 事業名 : <児童センター指定管理事業>

(1) 那智が丘児童センター指定管理事業

- ① 内容
- 実施日 : 年間を通じて実施
*日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
 - 実施場所 : 名取市那智が丘児童センター
 - 従事者 : 常勤7名、補助員3名(長期休みやイベント時など)
 - 受益対象者 : 0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員(小学校1年生から3年生までの登録児童)

②運営方針

- a.児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b.健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c.異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d.地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e.こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

子育てひろば (ぴよぴよハウス)	・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・ 育児についての不安や悩みを共有する。 ・ 月曜日～金曜日 9:00～16:30(祝日、年末年始を除く) *年間利用者数は別表1参照。
ファミリー フェスティバル	・ 市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 - 年間1回 *高館保育所・増田児童センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ (コッコの時間・ シネマ de コッコ)	・ 母子分離を行って活動を楽しむことで、育児リフレッシュを図る。 ・ 少しの時間子どもと離れ、自分の時間を過ごすことで、心にゆとりを持ち、育児の楽しさを再確認してもらう。 <コッコの時間> ・ 年間11回実施 *参加費 無料、活動中託児有 <シネマ de コッコ>*ママの映画会 ・ 全11回開催 *映画会の会場に遊びのスペースを設置。託児は行わないが会場内でスタッフと遊びながら過ごすことが出来る
遊びの広場	・ 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関

「ぴよぴよ広場」	わり方、子育ての楽しさを伝えていく。 工作、クリスマス会、遠足、歯磨き教室など実施。 ・ 年間 10 回開催。
ぴよぴよファーム	・ 畑作りの活動を通じて、自然と触れ合う経験を促す。 年間 8 回開催
子育て情報誌の発行 「piyopiyo」	・ 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 ・ 毎月 1 回発行
その他	・ 歯科指導・子育て支援センター連携協力等 年間 41 回実施 ・ メール配信・ホームページ・ブログを利用したの情報提供



**ぴよぴよパス遠足
～ブドウ狩り～**



**ぴよぴよ広場
～運動会ごっこ～**



ぴよぴよファーム



**コッコの時間
～アロマクラフト～**

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成26年度放課後児童クラブ登録児童数は37名（平成27年3月末日登録現在）自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

b.各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
- ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
- ・お話しタイム……お話しボランティアさんによる楽しいお話の時間。
- ・ティータイム……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
- ・きりえタイム……カッターの安全な使い方を知り、自分だけの作品を作る。
- ☆その他、折り紙タイムやお茶会など楽しい行事を多数実施。

⑥ 次世代育成支援

育児ボランティア 育成支援	・ 地域にある大学を中心にした学生ボランティア育成支援 ・ 子育て経験者を中心とした育児ボランティアサークルの育成支援
------------------	--

⑦ 地域交流

お話し会	地域のお話しボランティア「お話しポケット」によるお話し会を開催。活動を通じて子どもたちと地域の方々との交流を図る。 毎月1回開催。
老人保健施設なとり 慰問交流会	学区内にある老人保健施設なとりとの慰問交流。世代間交流を通じて思いやりの心や、やさしい気持ちなど、子どもたちの心の成長を育む 年間1回実施
福寿会交流	地域で活動している福寿会との交流。ゲートボールやグラウンドゴルフなどの活動を通じて、地域の世代間交流を図る。 年間1回開催

⑧ 中高生への支援

+You (プラス ユー)	中高生の居場所作り事業 16:30以降の時間、クラブ室以外のスペースを中高生に開放。ボランティアではなく、自分たちの「居場所」として施設の活用を促す。
その他	みどり台中学校共催「命の授業」 中学3年生を対象に、地域の方々とともに、出産から人生の終焉までを考える。

出産を控えた方から次世代を担う方々、放課後児童クラブ対象児童、子育てをひと段落された方々までつながりを持って支援していくことで、育児力の向上を図るだけでなく、地域の育児に対する意識の向上や、児童センターを介した地域交流から地域の活性化を目指している



地域交流芋煮会



地域交流夏祭り



七草会



老人クラブ「福寿会」交流会



**総合避難訓練
～乳幼児親子・小学生合同～**



**感謝の会
～親子レクリエーション～**

⑨ 那智が丘児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	25日	24日	25日	26日	27日	127日
登録児童 (放課後児童)	520名	519名	528名	526名	390名	2483名
自由来館 (小学生以上)	211名	170名	185名	239名	145名	950名
乳幼児の親子 (サロン利用)	235名	229名	253名	252名	138名	1107名
行事 クラブ活動	230名	507名	405名	334名	439名	1915名
他団体 地域活動	137名	144名	97名	467名	68名	913名
合計	1333名	1569名	1468名	1818名	1180名	7368名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	25日	24日	23日	23日	95日
登録児童	478名	474名	417名	416名	1785名
自由来館 (小学生以上)	165名	162名	159名	154名	640名
乳幼児の親子 (サロン利用)	292名	211名	183名	153名	839名
行事 クラブ活動	514名	405名	386名	424名	1729名
他団体 地域活動	226名	341名	82名	106名	755名
合計	1675名	1593名	1227名	1253名	5748名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	24日	25日	72日	294日
登録児童	332名	407名	456名	1195名	5463名
自由来館 (小学生以上)	97名	108名	265名	470名	2060名
乳幼児の親子 (サロン利用)	144名	307名	307名	758名	2704名
行事 クラブ活動	142名	667名	807名	1616名	5260名
他団体 地域活動	14名	6名	201名	221名	1889名
合計	729名	1495名	2036名	4260名	17376名

1日平均利用者数：約59名

⑩ 1年のまとめ

事業開始から4年目を迎え、地域とのつながりもより育むことが出来た1年であった。新制度へ向けて、10月より放課後児童クラブの専用スペースを確保し、児童館本来の機能と放課後児童クラブの担う役割など、職員間だけでなく、利用者や地域へ向けた発信も行うことが出来たと思う。今後は、それぞれの役割をより明確にし、連携機関や地域へ発信し、ともに支え合いながら子育ての拠点としての機能をより強固なものにしていく。

(2) 増田児童センター業務委託運営事業

- ① 内容
- 実施日 : 年間を通じて実施
*日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
 - 実施場所 : 名取市増田児童センター・下増田幼稚園(下増田放課後児童クラブ)
 - 従事者 : 常勤16名、補助員3名(長期休みやイベント時など)
 - 受益対象者 : 0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員(小学校1年生から3年生までの登録児童)

② 運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・ 組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・ いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ ルールを身につける。
 - ・ 異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

子育てひろば (びよびよハウス)	・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・ 育児についての不安や悩みを共有する。 ・ 月曜日～金曜日 9:00～16:30(祝日、年末年始を除く) *年間利用者数は別表1参照。
ファミリー フェスティバル	・ 市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 年間1回 *高館保育所・那智が丘児童センターと連携し、実施している。

育児リフレッシュ (コッコの時間)	- 母子分離を行って活動を楽しむことで、育児リフレッシュを図る。 - 少しの時間子どもと離れ、自分の時間を過ごすことで、心にゆとりを持ち、育児の楽しさを再確認してもらう。 <コッコの時間> - 年間6回実施（那智が丘と共催） *参加費 無料、活動中託児有
遊びの広場 「ぴよぴよ広場」	- 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、遊びの伝承、子育ての楽しさを伝えていく。 - 集団遊び、工作、児童文化財鑑賞など実施。 - 毎月1回程度（10：30～11：30）
赤ちゃん広場	- 様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関係づくりを図る。 - 毎月第4水曜日 1歳未満のお子様を対象。
双子ちゃんの広場	年3回程度。親同士交流を図りながら、子育ての不安を軽減する。
移動サロン	館腰、愛島、愛の杜・美田園地区でサロンを開催。地域のコミュニケーションを図る。
サークル支援・育成	- 市内子育てサークルへの遊びの支援（年間各2回まで） - サークルサークル会（サークル代表への遊びの提供）年5回 - サークル交流運動会の実施。 - 自主サークル結成支援
育児相談 「もしもし子育て110番」	- 電話相談。来館・ひろばでの相談。 - 育児に不安や悩みを持つ保護者などから電話や面談を通じて相談を受け、問題解決へのアドバイスや傾聴などを行い、子育て支援の一環を担う。
子育て情報誌の発行 「piyopiyo」	- 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 - 毎月1回発行
その他	- 歯科指導・育児講座・子育て支援センター連携協力等 年間 26回実施 - メール配信を利用したの情報提供



サークルサークル会



**育児講座
～親子リズム体操～**



交流七夕会



保健師さんによる歯みがき指導

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成26年度増田放課後児童クラブ登録児童数は76名・下増田放課後児童クラブ83名。(平成27年3月末日登録現在) 自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生
増田児童センターは、増田放課後児童クラブ、下増田放課後児童クラブ(下増田幼稚園内)の2放課後児童クラブを運営している。

b.各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単に楽しい工作を実施。
- ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
- ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
- ・午後の喫茶……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
- ・きりえタイム……カッターの安全な使い方を知り、自分だけの作品を作る。
- ☆その他、ぬりえタイムやあそびのお祭りなど楽しい行事を多数実施。

⑥ ファミリーサポートセンター

- ・「育児のお手伝いをしてほしい方(利用会員)」と「育児のお手伝いをしたい方(協力会員)」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織・有償のボランティア活動。
- ・利用のしくみ……利用するためには、会員登録が必要。
援助を受けたい方(利用会員)、援助を行いたい方(協力会員)はセンターに申し込むことによって会員となる。援助を受けることと行うことの両方を希望する場合には、両方会員になることもできる。

a. 会員数について〈平成27年3月末現在〉

依 頼 会 員	4 8 6 人
提 供 会 員	1 3 5 人
両 方 会 員	5 0 人
合 計	6 7 1 人

b. 活動状況について〈平成26年4月～平成27年3月〉

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	1 1 回
保育所・幼稚園の送り	4 0 回
保育所・幼稚園の迎え	3 9 1 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	4 1 4 回
学童の放課後の預かり	1 0 8 回
放課後児童クラブの迎え	2 9 3 回
放課後児童クラブ終了後の預かり	3 0 4 回
子供の病気の援助	9 回
子供の習い事等の場合の援助	1 3 9 回
保育所・学校等休み時の援助	3 1 回
保育所等施設入所前の援助	4 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0 回
保護者等の求職活動中の援助	1 回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	3 回
保護者等の外出の場合の援助	3 2 回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0 回
保護者等の家事、用事、リフレッシュ等の援助	1 2 2 回
その他	0 回
小学校の送り	1 回
児童センターの送り	3 回
児童センターの迎え	8 回
合 計	1 9 1 4 回

キャンセル回数	3 9 回
---------	-------

㉔. 平成26年度 名取市ファミリーサポートセンター子ども年齢別集計表

平成27年3月31日現在

活 動 内 容	0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	10才	合計
保育所・幼稚園の登園前の預かり		6		4	1							11
保育所・幼稚園の送り	1	28	6	4	1							40
保育所・幼稚園の迎え	26	70	47	23	122	40	63					391
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	26	60	34	24	121	72	77					414
学童の放課後の預かり								1		75	32	108
放課後児童クラブの迎え							5	173	110	5		293
放課後児童クラブ終了後の預かり							11	171	108	14		304
子供の病気の援助		3			4			1	1			9
子供の習い事等の場合の援助				2		40	16			35	46	139
保育所・学校等休み時の援助	3	2		2	2	3	6	8	4	1		31
保育所等施設入所前の援助					4							4
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助												0
保護者等の求職活動中の援助		1										1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助		2	1									3
保護者等の外出の場合の援助	3	14	5	1	4	2				1	2	32
保護者等の病気、その他急用の場合の援助												0
保護者等の家事、用事、リフレッシュ等の援助	96	21	2			1	1		1			122
その他												0
小学校の送り								1				1
児童センターの送り							3					3
児童センターの迎え							6		2			8
合 計	155	207	95	60	259	158	188	355	226	131	80	1914

⑦ 地域交流など

- ・（震災復興支援）「神戸の大学生ボランティアチームの企画による縁日イベント」
大学生が主となって、お祭りを企画。児童は各コーナーをまわって学生と交流。
9月 増田児童センター敷地内。
- ・（震災復興支援）三菱UFJ、ユネスコの支援による親子交流会。
イルミネーション設置、砂場作り、楽器づくり、ママの化粧講座、記念撮影、
日本フィルコンサートと児童のコラボ。11月 増田児童センター・文化会館。
- ・交流七草がゆの会…地域でお世話になっているボランティアの方々を招待して、ゲーム遊びや会食を行い交流を図る。平成27年1月7日（水）



けん玉教室



スポーツタイム！



すいか割り



水遊び



交流七草がゆの会



親子レクリエーション

⑧ 増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	26日	24日	25日	26日	26日	127日
登録児童 (放課後児童)	1101名	1142名	1174名	1178名	865名	5460名
自由来館 (小学生以上)	1118名	1337名	1280名	1352名	679名	5766名
乳幼児親子	302名	486名	490名	429名	180名	1887名
行事	57名	453名	339名	138名	226名	1213名
合計	2578名	3418名	3283名	3097名	1950名	14326名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	24日	26日	24日	23日	97日
登録児童 (放課後児童)	1080名	1104名	1024名	882名	4090名
自由来館 (小学生以上)	1113名	1104名	1033名	875名	4125名
乳幼児親子	537名	401名	413名	304名	1655名
行事	300名	258名	411名	607名	1576名
合計	3030名	2867名	2881名	2668名	11446名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	25日	71日	295日
登録児童 (放課後児童)	1010名	952名	1034名	2996名	12546名
自由来館 (小学生以上)	815名	830名	815名	2460名	12351名
乳幼児親子	376名	480名	453名	1309名	4851名
行事	313名	132名	447名	892名	3681名
合計	2514名	2394名	2749名	7657名	33429名

1日平均利用者数：約113名

(登録児：43名、自由来館児：42名、乳幼児親子：16名、行事等：12名)

⑨ 下増田放課後児童クラブ利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	22日	20日	22日	22日	21日	107日
登録児童 (放課後児童)	1108名	1122名	1224名	1177名	962名	5593名
長期休業期間のみ利用	143名	0名	0名	203名	419名	765名
行事	134名	255名	436名	252名	242名	1319名
合計	1385名	1377名	1660名	1632名	1623名	7677名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	20日	20日	18日	19日	77日
登録児童 (放課後児童)	1236名	1187名	1047名	935名	4405名
長期休業期 間のみ利用	0名	0名	0名	85名	85名
行事	120名	172名	196名	124名	612名
合計	1356名	1359名	1243名	1144名	5102名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	19日	19日	22日	60日	244日
登録児童 (放課後児童)	1002名	1049名	1239名	3290名	13288名
長期休業期 間のみ利用	83名	0名	131名	214名	1064名
行事	47名	147名	140名	334名	2265名
合計	1132名	1196名	1510名	3838名	16617名

1日平均利用者数：約67名

(登録児：54名、長期休業：4名、行事等：9名)

⑩1年のまとめ

委託業務1年目で、前年度の名取市職員との総入れ替えとなって年度始めを迎えた。引き継ぎはあったものの、職員は戸惑うことが多く、それでも手探りで様子を伺いながら、あり方・やり方を考える1年間でもあった。

増田児童センターに増田保育所から子育て支援センターが移り、予想以上に乳幼児親子の利用が多く、環境設定の工夫に迫られた。そして学童と乳幼児同時の受入方法や交流へのもっていきかた等、様々な課題ができた。そこにファミリーサポートも入り、いくつかの事業が同時進行で進んでいくことの大変さもあった。しかし全て繋がりのある事業なので、そこを良さと認めながら、良い面を利用者や地域へ発信していけるよう基盤づくりをしてきた。

下増田放課後児童クラブでは、建物の面積に対して、学童の受入人数が多い中、様々な環境設定や遊び・生活のやり方を試行錯誤しながらの1年であった。また、幼稚園の建物を借用しながらの業務だったので、幼稚園職員との連携や建物が使用できない時の為、公民館や小学校との連携も重要であった。その点に関しては、職員の働きかけにより、基盤づくりができた1年でもあった。下増田の職員は、午後からの放課後児童クラブの業務が主となるので、日々学童との関わりのみに意識がむいてしまいがちであった。本来の児童センター職員としての0歳～18歳対象という、意識を高める為、増田児童センターとの交流や情報交換、乳幼児～中高生・子育て支援に対する学びの場ももてるよう、考えていきたい。

今後は役割分担をしながら業務を整理していくこと、中高生の居場所づくりの検討、職員の質をさらに高め、連携をとりながらそれぞれ目的意識をもって仕事に臨み、利用者や地域と一緒に、より良いものをつくりあげていけるよう努めていく。

2. 次世代育成事業

(1) 平成27年度子育て支援者スキルアップセミナー

児童館・子育て支援者研修会～こどもたちの「遊び」「居場所」

講師：渡部 達也 氏 (NPO 法人ゆめ・まち・ねっと代表)

日時：平成26年11月4日 15:30～17:30

会場：那智が丘児童センター 集会室

参加人数：12名

成果・課題

参加者同士、問題意識を共有しすることが出来、今後の取り組みに活かされていると思う。
会を主催する上でも、講師や NPO 関係者、名取市内の児童センターなど各機関同士の連携を深め、共に活動しており、より良い子育ての環境をともに考え活動していくための基盤形成にもつながっている。

3. 地域の連携事業

(1) 子育てイベント託児

①実績

日 付	催事名	場 所	託児人数	ボランティア
4 / 1	復興まちづくり	桜塚集会所	2	2
4 / 5	復興まちづくり	愛島東部集会所	2	2
4 / 6	復興まちづくり	愛島東部集会所	0	2
4 / 8	復興まちづくり	入生集会所	0	2
4 / 15	復興まちづくり	植松集会所	0	2
5 / 11	復興まちづくり	文化会館 和室	2	3
6 / 2	育児ママのリフレッシュタイム	文化会館 和室	10	7
6 / 16	育児ママのリフレッシュタイム	文化会館 和室	8	7
6 / 23	育児ママのリフレッシュタイム	文化会館 和室	8	5
6 / 30	育児ママのリフレッシュタイム	文化会館 和室	10	8
7 / 7	育児ママのリフレッシュタイム	文化会館 和室	7	6
6 / 5	子育てママのリフレッシュタイム	館腰公民館	9	7
6 / 19	子育てママのリフレッシュタイム	館腰公民館	9	9
7 / 3	子育てママのリフレッシュタイム	館腰公民館	9	7
7 / 17	子育てママのリフレッシュタイム	館腰公民館	9	7
6 / 13	ママ力向上セミナー	相互台公民館	13	5
9 / 12	ママ力向上セミナー	相互台公民館	16	5
10 / 10	ママ力向上セミナー	相互台公民館	13	6
7 / 2	名取市子ども子育て会議	名取市役所会議室	2	2
10 / 9	名取市子ども子育て会議	名取市役所会議室	1	2
3 / 23	名取市子ども子育て会議	名取市役所会議室	1	1
9 / 29	リフレッシュ親子タイム	増田西公民館	2	5
10 / 3	親子で遊ぼう子育て講座	那智が丘公民館	8	5
10 / 19	保育ガイダンス	文化会館 小ホール		3

1 1 / 6	子育て講座「おいでおいで」	名取が丘公民館	1 2	3
1 1 / 2 7	子育て講座「スキンケア」	ゆりが丘公民館	6	6
1 1 / 2 9	市民のつどい	文化会館 和室	7	4
合 計	2 7 回		1 6 6	1 2 3

② 成果課題

前年度までと同様に、子どもたちにとって、託児は嫌な時間ではなく「お楽しみの時間」となるよう雰囲気作りなどを考えて実施してきた。子どもたちや保護者にとってとても良い雰囲気の中で活動出来ているように思う。しかし、同じメンバーで託児にあたることも多く、ボランティアスタッフの増員など、あらためて内部強化を図る必要性が出ている。ボランティアとして関わるスタッフ自身も安心して楽しく活動していけるよう事業の見直しを図っていく。

(2) 青少年への命の授業

① 内容

地域の方々と中学生を対象として、「心と命をつなぐ大切さ」を考え、共に体験する時間をもつことで、地域の世代を越えたふれあいの場を提供する。

② 実績

みどり台中学校共催 みどり台中学校命の授業「ココロふれあい講座」の実施

(「チャレンジクレイアート」「こんにちは！赤ちゃん～未来の親となるあなたへ」
「命を考える～命には最後まで心がある～」の全3回)

- ・対象 みどり台中学校3年生
- ・場所 みどり台中学校 体育館
- ・協力機関 仙台ターミナルケアを考える会 仙台人権擁護委員会名取
名取市西部地区民生員児童委員協議会 脳キラッとなとり
みどり台中学校学区地域協力者

③ 成果・課題

出生から人生の終焉まで「命をつなぐ大切さ」を考える貴重な経験となり、思春期の生徒たちに命の大切さや将来の人間形成に必要な父性・母性を育ませるきっかけとなったのではないかと思います。また、地域の方々と共に考え、体験する時間を共有することで、世代を越えた地域交流の場となったように思う。

実施に際しては、各団体や地域の方々の協力が不可欠である。思春期の子どもたちにとって、とても貴重な経験となることなど事業実施の必要性を各団体や地域の方々に呼びかけ、継続して実施していく。



(3) 他団体との連携・協力

①内容

県内外の被災地支援や子育て支援を目的とする支援団体へ、協力団体として活動協力を実施（会場の設定、広報活動、ボランティアスタッフとして活動協力実施）

②実績

- ・宮城県家庭教育支援チーム関係
講師・ファシリテーター等 年間7回 （理事 中保良子・理事長 齋藤勇介）
- ・宮城県子育てサポーター・サポーターリーダー養成講座
講師 年間7回 （理事 中保良子・理事長 齋藤勇介）
- ・宮城県サポーターリーダーネットワーク研修会
講師 年間2回 （理事 中保良子）
- ・増田中学校（モラルジレンマ授業）関係
実施日数 5日間 （担当：理事 中保良子）
- ・宮城県「みやぎの協働教育に係る懇話会」関係
委員会出席等 4回 （理事 中保良子）
- ・名取市子育てサポーター養成講座関係
講師 2回 （理事 中保良子・理事長 齋藤勇介）
- ・宮城県教育応援団関係
講師 3回 （理事長 齋藤勇介）
- ・他団体
親学習プログラム関係 講師 年間10回 （理事 中保良子）
のびすく仙台 パパサロン講師 ＊全2回開催（理事長 齋藤勇介・副理事長 小野高宏）
名取市保健センター もぐもぐセミナー講師 年間4回開催 （理事長 齋藤勇介）
子育て講座・育児講座（父親の育児参加・地域連携・実践報告等）
講師 年間9回 （理事長 齋藤勇介）
- ・H20.4～現在 名取市生涯学習課家庭教育基盤形成推進事業との連携
（家庭支援チーム員ぽっぽうすとして従事）
- ・H24.6～現在 名取市男女共同参画推進委員 （理事長 齋藤勇介）
- ・H25.4～3 宮城県家庭教育支援チーム員 （理事長 齋藤勇介）
- ・H25.11～現在 名取市子育て支援ネットワーク委員（理事長 齋藤勇介）
- ・H25.11～現在 名取市子ども・子育て会議委員（理事長 齋藤勇介）
- ・H26.3～現在 宮城県民間非営利活動促進委員会（理事長 齋藤勇介）
- ・H25.4～H27.3 宮城県児童館連絡協議会 監事（理事長 齋藤勇介）
- ・H26.4～H27.3 宮城県児童館連絡協議会 研修会実行委員（理事長 齋藤勇介）
- ・H26.12～現在 宮城県児童館連絡協議会 運営検討委員（理事長 齋藤勇介）

④ 成果・課題

活動を通じたつながりが新たな活動を生み、それが形になってきており、取り組みはさらに充実してきている。講演活動などを通じて、当法人の取り組みも以前より認知されるようになり、児童センターの取り組みなど市と協働し、これまでの子育て支援の取り組みの改善が進むようになった。今後も各機関との連携を図り、地域の子育て支援に努めていく。

4. 子育て支援事業

(1) ホームスタート（平成26年まちなみ育児ファンド助成事業）

訪問型子育て支援事業「ホームスタート」の実施。

訪問ボランティア（ビジター）育成・サポート

担当：2名

① 助成金精算額調書

総事業費 (A)	寄付金その他の 収入(B)	差引事業費 (A-B=C)	助成金交付額 (D)	助成金精算額 (CとDの少ない方の額=E)	助成金返還 額(D-E)
699,702.	0.	699,702.	1,200,000.	699,702.	500,298.

② 事業実績

HS オーガナイザー養成コース、トラスティー研修 受講

◆オーガナイザー養成コース、トラスティー研修

受講者名	オーガナイザー：赤沼 貴子
受講報告	傾聴の実習や訪問については、ロールプレーをして実際に体験することでイメージをつかみやすく現場を感じることができた。また、現在ビジターで活動している方が3名いて現場の実際を話してくださり、大変参考になった。HS オーガナイザーとしての実務は多岐にわたり、また担う責任も大きいと正直プレッシャーを感じたが、子育て世代におけるホームスタートの果たす役割は更に大きいと信じてこれから頑張っていきたいと思う。

◆スキルアップ研修

受講日	2014年9月27日～9月28日
受講者名	オーガナイザー：塚本 美紀 トラスティー：
受講報告	他スキームの方々と交流することで、皆さんのホームスタート活動に対する思いや、一生懸命取り組んでおられる事が伝わってきた。傾聴の講座も図式で分かりやすく、改めて傾聴とはどんなものか学ぶことができた。事例報告等は大変参考になると同時に、訪問活動が未だ始まっていない現在、今後どのような出会いがあるか、不安も膨らんだが、抱え込まず相談することが大事だと感じた。

HS ホームビジター養成講座、スキルアップ講座実施

◆HS ホームビジター養成講座 （各講座のプログラムを添付）

実施日（第 1 回）	2014 年 7 月 14 日 ～ 10 月 3 日		
受講者数	10 人	修了者数	6 人
外部講師名	越中 康治（宮城教育大学） 森山 英子（NPO 法人仙台傾聴の会） 鈴木 俊博（子ども虐待防止ネットワークみやぎ）		
登録ビジター数	6 人		

◆スキルアップ講座

実施日	2014 年 11 月 18 日
受講者数	5 人
外部講師名	なし
講座内容	訪問活動がまだ始まっていないので、モチベーション維持のための定例会として開催した。現在の状況説明や情報提供、今後の活動についての意見交換を行った。

③ 訪問活動

活動開始	平成 27 年 2 月
総訪問回数	6 回
利用家庭数	1 家庭
活動終了家庭数	1 家庭
効果	傾聴、寄り添いの支援を行うことで、安心感から心にゆとりが生まれ、子育てをより前向きに楽しんでいくきっかけになったように思う。また、訪問先での利用者の様子からその後に支援が必要であると感じた時には、各機関につなぐ架け橋となる役割を担うこともでき、この事業の必要性を実感している。

④ 広報周知活動（時期・実施内容等具体的に）

名取市においてはホームスタート自体の理解がほとんどないため、平成 26 年 5 月 26 日名取市文化会館にて、説明会を実施しました。H S J 森田圭子氏より事業説明、H S 仙台いずみのOG小川ゆみ氏より実践報告を講演いただいた。対象は保健センター・子育て支援センター・児童センター等、子育て支援各機関や子育てボランティアとし、22 名の方に参加いただいた。

⑤ 考察・課題

訪問活動はまだ 1 件のみの状態ではあるが、さまざまな子育て支援の機関に関わっていると、この事例はホームスタートが合うのではないかと感じるが多々ある。保健センターの保健師さんも、ホームスタートに期待している様子。また、ビジター登録をして準備を整えてくださっている方々もいるので、広報活動をより強化し、訪問活動を実施していきたいと思う。

Ⅲ 1 年のまとめ

法人として事業を開始から 4 年目を迎え、増田児童センターの業務委託事業など新たな事業もスタートし、職員も増員となるなど、活動の幅が大きく広がる一年となった。それだけに、資質の向上や問題意識の共有など今後の取り組みに向けて、法人の基盤をより強固なものにする必要があると強く感じている。今年度見えてきた現状を踏まえ、次年度は職員の育成など基盤強化に努めていく。